



学生相談室 相談員  
文学部准教授  
湯浅 幸代

# 相 談 室 の 窓 か ら

## 「虚構」と「現実」のつきあい方

浮気、二股、不倫……。現代の価値観でいえば、間違いなく「悪者」扱いされる行為でしょう。昨今、特にそのような行為に対する世間の目は厳しくなっています。でも上記の行為、私が研究する平安時代中期の王朝物語では、光源氏のような主人公のふるまいとして、たびたび語られています。社会の仕組みの違いはさておき、当時の「色好み」たちは、大方貴族社会で栄達し、「人間」としても魅力的に描かれています。

もちろん、女性が主人公の物語では、一人の妻に一途な「まめ男」も登場します。ただ、多くの女性たちと交流することで（思うようにならない恋をたくさん経験することで）、主人公自身が思い悩み、成長する姿は、多くの読者から好意的に受けとめられてきました。また魅力的な主人公に愛される女性たち（その愛を拒否する者も含む）の悲喜こもごもの姿に、憧れたり癒やされたりする読者もいたのです。そこには、たとえ帝妃と通じるような主人公であっても、それを「現実」と切り離し、あくまで「虚構」として楽しむ余裕があったのでしょう。

現代は、SNSの浸透により、「虚構」と「現実」はまるで地続きです。芸能人もツイッターやブログによって身近な存在となり、彼らが崇拜の対象（虚構の存在）であったのは過去のこと。でも「人間」にはさまざまな「顔」があり、私たちはその一部しか知り得ません。SNSの言葉が、その人の「全て」ではないし、ましてやその「行い」についての真意は、当事者にしかわかりません。

「現実」は、やはり直接目で見て聞いたもの、「ライブ感」が重要です。例えば平安時代の物語は、その話を実際に見聞きした女房が物語の「語り手」として必ず存在し、物語のリアリティを保証しています。皆さんも個々の「私語り」にだまされることなく（切れ端の言葉や情報を鵜呑みにするのではなく）、ぜひ第三者の視点で物事を見定めてください。

あなたはあなた、わたしはわたし、お互いわからないし、違うからこそ、認め合うことができるのです。わかったつもりや自分と同じだと考えることは、思わぬ落とし穴になります。それでも、失敗から学ぶことは多いので、まずは人と関わることを怖れずに、ぶつかってみてください。ラインやツイッターのやりとりだけでなく……。

## 学 生 相 談 室 について

- 駿河台キャンパス…… 大学会館2階 TEL: 03-3296-4217
- 和泉キャンパス…… 第一校舎2階 TEL: 03-5300-1178
- 生田キャンパス…… 中央校舎2階 TEL: 044-934-7619
- 中野キャンパス…… 低層棟4階 TEL: 03-5343-8080

### 開室時間

月～金 9:30～17:30 土 8:30～12:00(原則隔週)

- 当日の相談の受付は、各開室時間の30分前までとなります。(緊急時を除く)
- 夏季休業・入試期間中など開室時間の変更については、ホームページをご確認ください。  
<http://www.meiji.ac.jp/soudan/>